

News Release



各 位

2005年12月20日
株式会社アルバイトタイムス
(証券コード:2341)
(URL: <http://www.atimes.co.jp>)
代表取締役社長 鈴木 秀和

アルバイトタイムス、第3四半期営業利益は19%増

ただし成長ドライバーである『DOMO』の増収率は鈍化

無料求人情報誌『DOMO(ドーマ)』を編集・発行する株式会社アルバイトタイムス(本社:東京日本橋、代表:鈴木秀和、ジャスダック証券取引所上場、コード:2341)は、2006年2月期第3四半期(9月-11月)業績が確定しましたのでお知らせいたします。

(財務諸表等、詳細な財務情報については、同日開示の「第3四半期決算短信」をご参照ください。)

■ 連結業績(2006年2月期第3四半期:9月-11月)

連結業績


(百万円)	'06/2Q3 実績		'05/2Q3 実績		前年同期比		'06/2Q3 予想		予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,687	100.0	4,668	100.0	18	0.4	4,802	100.0	△115	△2.4
営業利益	720	15.4	604	12.9	116	19.3	700	14.6	20	2.9
経常利益	721	15.4	603	12.9	117	19.4	700	14.6	20	3.0
四半期純利益	339	7.2	351	7.5	△12	△3.4	427	8.9	△87	△20.6
EPS	¥9.88		¥31.00				¥12.47			

(注) 1. 2005年2月28日現在の株主に対して1:3の株式分割を行っています。

2. EPS: 1株当たり四半期純利益

お問合せ先:
株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR担当 高橋 徹弥
E-mail: tetsutaka@atimes.co.jp Tel: 03-5202-2255 Fax: 03-5202-2300

News Release

株式会社 アルバイトタイムス 

事業セグメント別業績

(百万円)	'06/2Q3 実績		'05/2Q3 実績		前年同期比		'06/2Q3 予想		予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
情報関連										
売上高	3,312	100.0	3,293	100.0	19	0.6	3,438	100.0	△126	△3.7
営業利益	690	20.9	576	17.5	114	19.8	686	20.0	4	0.6
人材関連										
売上高	1,395	100.0	1,400	100.0	△5	△0.4	1,385	100.0	9	0.7
営業利益	29	2.1	27	2.0	2	8.4	13	1.0	16	118.7

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高が含まれています。

『DOMO』・『DOMO NET』売上高

(百万円)	'06/2Q3 実績		'05/2Q3 実績		前年同期比		'06/2Q3 予想		予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	増減額	増減率
連結売上高	4,687	100.0	4,668	100.0	18	0.4	4,802	100.0	△115	△2.4
DOMO合計	3,014	64.3	2,788	59.7	226	8.1	3,116	64.9	△101	△3.3
首都圏版	1,028	21.9	979	21.0	49	5.0	1,064	22.2	△35	△3.3
千葉版	73	1.6	—	—	73	—	60	1.3	12	20.9
ヨコハマ版	244	5.2	297	6.4	△53	△18.0	296	6.2	△52	△17.7
静岡3版	1,231	26.3	1,235	26.5	△4	△0.3	1,218	25.4	13	1.1
名古屋版	291	6.2	222	4.8	68	30.9	311	6.5	△19	△6.4
大阪版	136	2.9	52	1.1	83	158.8	165	3.4	△29	△17.6
神戸版	9	0.2	—	—	9	—	—	—	9	—
DOMO NET	5	0.1	4	0.1	1	25.9	36	0.8	△30	△84.1

お問合せ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR担当 高橋 徹弥

E-mail: tetsutaka@atimes.co.jp Tel: 03-5202-2255 Fax: 03-5202-2300

投資の一巡、費用の見直しにより予想通り 19%増益を達成

- 当四半期の連結業績は、売上高が前年同期比 0.4%増の 46 億 8 千 7 百万円、営業利益が同 19.3%増の 7 億 2 千万円、経常利益が同 19.4%増の 7 億 2 千 1 百万円となりました。第 4 四半期に見込んでいた特別損失を前倒し計上したため、四半期純利益は同 3.4%減の 3 億 3 千 9 百万円となり、1 株当たり四半期純利益は 9.88 円となりました。
- 競争激化により、連結業績をけん引する『DOMO』の増収率が鈍化した結果、前期に休刊した情報誌の減収分を相殺できず、連結売上高は横ばいとなりました。
- 前年同期の首都圏版週 2 回発行の開始(2004 年 11 月)に伴う先行投資負担が一巡したことと、休刊媒体のコスト負担がなくなったことにより、千葉版・神戸版の先行投資負担を吸収し、19%の増益を確保できました。

競争激化により『DOMO』の増収率は鈍化

- 主力商品である無料求人情報誌『DOMO』の売上高は、前年同期比 8.1%増の 30 億 1 千 4 百万円となりました。業界最大手の進出による影響を最小限に抑制できている静岡 3 版は予想通りとなりましたが、首都圏版・ヨコハマ版・名古屋版・大阪版は、価格競争の激化により掲載件数を計画ほど伸ばせず、予想に届きませんでした。
- 非正社員向け求人広告市場においては、新規参入企業(特にインターネット)を中心とした価格競争が激化しており、コスト負担の小さいインターネット市場が低価格を武器に大幅に拡大しています。そのため、有料誌の広告掲載件数の減少が加速しており、無料誌の増加が鈍化しつつあります。
- 『DOMO NET』の売上高は同 25.9%増の 5 百万円となりました。『DOMO NET』は、まだ商品として確立しておらず、当面の最優先課題として、掲載件数及びプロモーションによるユーザー数の増加を掲げています。当四半期においては、大口顧客営業を中心に「紙媒体＋インターネット」の営業活動が定着し始めたため、掲載件数は第 2 四半期に比べ大幅に増加しました。

今期の業績見通し

- インターネット市場の大幅な拡大による過当な価格競争により、当面は厳しい事業環境の中で、事業展開をする必要があると予想しています。特に、首都圏版・ヨコハマ版・名古屋版・大阪版では、楽観視できない状況にあります。
- 売上予想達成の見通しが厳しいため、必要な投資は計画通り実施しつつも、改めて

コストの見直しを行うことでスリム化を徹底し、利益予想の達成を目指します。コストの見直しには、来期の投資の原資を拡充する狙いも含まれています。

■ 代表取締役社長 鈴木秀和のコメント

当四半期は、厳しい事業環境ながらも、予想通りの増益を確保することができました。しかしながら、主軸である『DOMO』事業の売上高は予想比で未達となり、第4四半期の見通しも楽観視できない状況です。背景としては、インターネット市場が低価格（あるいは大幅値引き）を武器に大幅に拡大し、有料誌市場の縮小を加速させるだけでなく、無料誌市場の拡大を鈍化させつつあるためです。課題である営業力強化には引き続き取り組んでいますが、現時点では価格競争を打破し得る水準には至っていないため、掲載件数を計画ほど伸ばせていない状況です。

ただし、紙媒体であろうとインターネットであろうと、反応（求職者からの応募）のない媒体は、最終的には淘汰されていくことが予想されます。そのため、厳しい価格競争の中でも反応を高めるための投資は積極的に行っていく必要があります。生き残りをかけた業界再編が加速していくと想定しています。

当社の調べによると、現時点ではインターネットのみを利用する求職者は全体の12%に留まっており、42%の求職者が無料誌とインターネットを併用しています。そのため、紙媒体（DOMO）とインターネット（DOMO NET）との相互補完関係を構築していくという経営戦略に大きな変更はありません。改めて効率化を徹底し、来期以降の投資の原資を可能な限り拡充したいという目論見もあるため、改めてコストを見直すことで今期利益予想の達成を目指します。

■ 通期業績見通し(2006年2月期通期)

連結業績見通し

(百万円)	'06/2期 予想		'05/2期 実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	18,443	100.0	17,327	100.0	1,115	6.4
営業利益	2,180	11.8	2,087	12.0	93	4.5
経常利益	2,179	11.8	2,085	12.0	94	4.5
当期純利益	1,436	7.8	1,172	6.8	264	22.6
EPS	¥41.93		¥103.65			
DPS	¥13.00		¥31.00			

(注) 1. 2005年2月28日現在の株主に対して1:3の株式分割を行っています。

2. EPS: 1株当たり当期純利益、DPS: 1株当たり配当金

事業セグメント別業績見通し

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高が含まれています。

(百万円)	'06/2期 予想		'05/2期 実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
情報関連						
売上高	13,065	100.0	11,733	100.0	1,331	11.4
営業利益	2,130	16.3	1,987	16.9	143	7.2
人材関連						
売上高	5,473	100.0	5,705	100.0	△231	△4.1
営業利益	49	0.9	99	1.7	△50	△50.4

お問合せ先:

株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR担当 高橋 徹弥

E-mail: tetsutaka@atimes.co.jp Tel: 03-5202-2255 Fax: 03-5202-2300

『DOMO』・『DOMO NET』売上高見通し

(百万円)	‘06/2期 予想		‘05/2期 実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
連結売上高	18,443	100.0	17,327	100.0	1,115	6.4
DOMO合計	11,770	63.8	9,939	57.4	1,831	18.4
首都圏版	4,144	22.5	3,364	19.4	779	23.2
千葉版	246	1.3	—	—	246	—
ヨコハマ版	1,003	5.4	1,020	5.9	△16	△1.6
静岡県3版	4,658	25.3	4,582	26.4	76	1.7
名古屋版	1,145	6.2	811	4.7	333	41.1
大阪版	553	3.0	160	0.9	393	245.6
神戸版	19	0.1	—	—	19	—
DOMO NET	92	0.5	6	0.0	86	1,353.9

■ 免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

■ 株式会社アルバイトタイムスについて

無料求人情報誌『DOMO』を全国展開する求人広告業界のリーディングカンパニー。無料求人情報誌のパイオニアとして、東京、名古屋、大阪といった主要都市での市場浸透度を着実に高め、さらに、主要都市の周辺地域への進出も視野に入れ、2005年3月に千葉版、同年10月に神戸版を創刊しました。「雇用の流動化」と「情報の無料化」をキーワードに、求職者と求人企業の多様なニーズに応えながら、さらなる成長を目指しています。

<http://www.atimes.co.jp>

お問合せ先:
株式会社アルバイトタイムス 総務部 広報・IR担当 高橋 徹弥
E-mail: tetsutaka@atimes.co.jp Tel: 03-5202-2255 Fax: 03-5202-2300